

## 活動報告

団体名	UEKI・レクリエーション協会
活動名	地域コミュニティづくりのレクサポーター養成・自立サポート事業
活動期間	2017年10月～2019年3月
活動の成果	<p>私たちは特に被害の大きかった地域の方々の笑顔を取り戻していただく為に、「笑顔体操」と銘打って定期的に阿蘇方面をはじめとする被災地にお邪魔しました。</p> <p>当初「何をしに来た！」といった表情の方もいらっしゃいましたが、やがて会う度に笑顔が自然と溢れるようになり、全体的に明るい表情が増え、今の状況を受け入れて気持ちを切り替えて前を見る勇気が湧いた様子や、心が元気になっていく姿をたくさん見ることができました。</p> <p>地域のボランティアによるレクリエーション活動を推進する動きも始まり、いまも活動を通して生まれたリーダー達が各地で活動を広げてくださっています。</p> <p>また、新しい土地でのコミュニティへと変わっていった生活は精神的な負担になっていましたが、参加者の笑顔や関わる人すべてが新しい友達となり自然と会話も増え、コミュニティが形成されていきました。身体的・精神的にも自立に向けて動きだしてきています。</p> <p>これからボランティアも少なくなっていく中で、皆が力を合わせて自助、共助、公助すべてが円滑に進められるように「自分たちで復興を成し遂げる」努力をしていかなければならないと強く感じています。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>今でも、熊本では地震により多くの方が生まれ育った場所、これまで生活してきた場所を離れて生活をしています。</p> <p>当初は「自分は被災者なんだ！」という気持ちも強く出ていました。</p> <p>多くのボランティアの方々が支援に入られ、支えていただく事が当たり前のような言動がみられたところもありましたが、私たちが活動を行った地域コミュニティでは、現在の「いまを生活している」という生活状況にも慣れ、少しずつですが落ち着き始めています。</p> <p>しかし、仮設住宅から復興住宅へ移る時がやってきて生活の変化をふたたび味わっています。新しい居住地においてもコミュニケーション力が大切となっています。</p> <p>これからも、皆様方からの大切な寄付金を活用して、被災地への訪問やレクリエーションを行い、被災者の方たちの笑顔が見れる活動をしていきたいと思っています。</p>

(活動のようす)

